

桐朋学園大学院大学 教授陣

辰巳 明子 [学長・特任教授] (ヴァイオリン)



ヴァイオリンを鷺見三郎、斎藤秀雄、海野義雄の諸氏に師事。桐朋学園大学を首席で卒業。文化庁在外芸術家研修員としてベルリンに留学、サシコ・ガブリロフ氏に師事。日本音楽コンクール第2位、海外派遣コンクール特別表彰、文化放送音楽賞、ドイツより音楽批評家賞受賞。エリアフ・インバル、ズデネク・マカール、ゲルト・アルブレヒトらの指揮でフランクフルト放送響、NDRハンブルク放送響、ハレ響等と共演。イサン・ユン「2台のヴァイオリンのためのソナチネ」、三善晃「鏡」、高橋悠治「七つのバラがやぶに咲く」、細川俊夫「冬の鳥」などが、彼女のために作曲された。ウィーン音楽大学、ザルツブルク音大、チューリッヒ音楽院、サンクトペテルブ

ルク音楽院等にてマスタークラスを行う。ザルツブルク夏期アカデミー、ニース、ニューヨーク、ピアリッツ等世界各地の国際音楽祭にて指導。日本音コンをはじめ、オイストラフ、ヴェニニアフスキ、モナコ、モーツァルト、リピツァ等20を超える国際コンクールの審査員を務めている。CDはカメラータ・トウキョウよりリリース。DAAD文部省国費留学生試験官、国立ベルリン芸術大学講師を経て、桐朋学園大学にて主任教授、副学長を歴任。2005年より茨城国際音楽アカデミー音楽監督、2009年よりヴァイオリン・フェスタ・トウキョウ音楽監督。チャンネルネクススホールにおいて、10年間公開レッスンを行う。

銅銀 久弥 [研究科長・教授] (チェロ)



桐朋学園子供のための音楽教室広島分室にて、齋藤秀雄氏と門下の著名なチェリスト達の指導を受ける。桐朋女子高等学校音楽科と桐朋学園大学および同大学研究科では、藤原真理、倉田澄子、井上頼豊の各氏に師事する。在学中、桐朋学園オーケストラ、広島交響楽団のソリストとして共演した。卒業後、読売新人演奏会、広島市新人演奏会出演。米国のタングルウッド音楽祭に奨学金を受け参加。1984年からNHK交響楽団で36年間

演奏し、フォアシュペラーも務めた。在団中、N響の海外研修員としてミュンヘンに留学、W. ノータス氏に師事した。室内楽、ソロ、オーケストラの客演首席などでも活躍しており、さくら弦楽四重奏団のベートーヴェン全曲シリーズに出演。チェロ四重奏団『ラ・カバルティエーナ』ではCDを多数リリース。ソロCDアルバム『パンペアーナ』も好評を得ている。2012年より桐朋学園大学院大学教授に就任。

田部 京子 [教学部長・教授] (ピアノ)



©Akira Muto

東京藝術大学附属音楽高校在学中、17歳で日本音楽コンクール第1位受賞。東京藝術大学に進学後、文化庁派遣在外研修員としてベルリン芸術大学に留学。エビナル国際ピアノコンクール第1位、シュナーベルコンクール第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位、ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞受賞。ベルリン芸術大学および同大学院を首席卒業。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィル、ワルシャワ・フィル、ローザンヌ室内管、

アルバン・ベルク弦楽四重奏団ほか、世界のトップアーティストから共演者に指名される。これまでに、村松賞(音楽部門大賞)、新日鉄音楽賞などを受賞。CDは35枚リリースされ、多くが国内外で特選盤に選出される他、レコードアカデミー賞などを受賞。また、古典派、ロマン派を軸にしたリサイタルシリーズも高い評価を受けており、NHKで放映、放送されている。2017年より桐朋学園大学院大学教授に就任。<http://www.kyoko-tabe.com>

岡田 博美 [図書館長・教授] (ピアノ)



©K.MIURA

富山市出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事する。第48回日本音楽コンクール第1位優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクール第1位(スペイン音楽解釈賞を併せて受賞)、1983年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位、1984年第2回ブレトリア国際コンクール第1位(リサイタル賞を併せて受賞)と、次々に優勝を果たし注目を集める。1993年のショパン・エチュード全曲演奏会に対して第20回日本ショパン協会賞を受賞。オーケストラとの

協演も多く、日本フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団ほか、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、イギリス室内管弦楽団等、海外のオーケストラとも協演している。録音も多く、カメラータ・トウキョウからは継続的にソロ、室内楽の分野でCDが発売され、いづれも高い評価を得ている。2011年より草津音楽祭にてマスタークラスおよびコンサートを毎年行っている。2015年4月より桐朋学園大学院大学教授に就任。

川久保 賜紀 [教授] (ヴァイオリン/ヴィオラ)



©Yuji Hori

2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞(1位なしの2位)。同時に、ロシア作曲家協会による「現代音楽の優れた演奏に対する特別賞」受賞。2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。2004年、出光音楽賞、エヴリー・フィッシャー賞を受賞。2007年S&R財団ワシントン・アワード賞受賞。川崎雅夫、Z.ブロン各氏に師事。幼少時をアメリカで過ごし、主要な北米オーケストラと共演する。ラヴィニア音楽祭では、芸術監督エッセン

バツハと共演。1997年チョン・ミョンフン指揮アジア・フィルのソリストとして初来日以来、日本の主要オーケストラと共演を重ねる他、インバル指揮ベルリン響、プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管などの日本公演のソリストに迎えられる。近年はワシントンや淡路島で自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮している。2018年より桐朋学園大学院大学教授に就任。

池原 舞 [准教授] (音楽学)



富山県出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻を経て、作曲理論学科音楽学専攻に転科、卒業。同大学研究科音楽学専攻修了。国立音楽大学大学院音楽研究科博士後期課程満期退学後、博士号(音楽学)を取得。専門は、イーゴル・ストラヴィンスキーを中心とした20世紀音楽。パウル・ザッハー財団での自筆譜研究に基づいた国内外での学会発表、また論文を多数執筆。近著は、「Stravinsky In Context」(Edited by

Graham Griffiths, Cambridge University Press, 2021)に掲載されたストラヴィンスキーとジャポニスムに関する論考。他、プログラム解説やレクチャー等、幅広く活躍。これまでに、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学、上野学園大学、早稲田大学等で講師を務める。2015年度秋学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞受賞。2023年4月より桐朋学園大学院大学准教授に就任。